

各位

上場会社名 マクニカ・富士エレ ホールディングス株式会社
代表者 代表取締役社長 中島 潔
(コード番号 3132)
問合せ先責任者 取締役 佐野 繁行
(TEL 045-470-8980)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年5月9日に公表しました平成29年3月期通期連結業績予想数値(平成28年4月1日～平成29年3月31日)を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	402,000	9,000	9,000	5,850	100.15
今回修正予想(B)	370,000	7,000	7,800	4,900	84.21
増減額(B-A)	△32,000	△2,000	△1,200	△950	
増減率(%)	△8.0	△22.2	△13.3	△16.2	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	405,315	9,729	10,176	7,285	124.72

修正の理由

当社の属するエレクトロニクス業界は、国内景気は足元で踊り場状態にあり、先行きも停滞感が残る中、海外経済の回復ペースが緩やかなものにとどまるとみられ、回復感に欠ける展開が予想されます。

当社におきましては、車載市場向けやネットワーク事業は伸長する見通しですが、携帯端末市場や通信インフラ市場、コンピュータ市場等が低調なことから先行き不透明な状況が予想されます。また、為替環境は、上半期同様、下半期におきましても当初想定レートより円高で推移することが見込まれ、この円高の影響による当社の米ドルを主とした外貨建販売と米ドル建仕入値引の目減り及び円安時に入荷した原価率の高い在庫の影響がしばらく残ることが想定されます。

これら事業環境と当社の収益状況を踏まえ、平成29年3月期の通期業績予想を修正いたします。

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上